

とやま 市議会だより

TOYAMA CITY ASSEMBLY

No.79

令和5年 9月定例会

発行日 令和5年(2023年)11月20日

発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 / FAX 443-2196

ホームページ <https://www.city.toyama.lg.jp/>

メールアドレス gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

詳しい情報は、
ホームページをご覧ください。

富山市議会

検索



富山市議会
ホームページ



市立探偵ペロリッチのTOYAMACITY/DLE

主な内容

9月定例会の概要、可決した主な議案等	2
会派別賛否一覧、委員会・諸会議等	3
常任委員会	4
一般質問	6
議会報編集委員会からのお知らせ等	10
請願・陳情、12月定例会の日程等	11
行政視察報告	12



〈消防団員募集中〉
詳しい情報はこちら



消防 (ファイヤー) + 路面電車 (トラム) の
ファイトラム、出発!

令和5年9月定例会の概要

54億4,698万余円の補正予算等を可決

令和5年9月富山市議会定例会は、9月4日から9月26日まで23日間の会期で開かれました。

令和5年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて20議案が原案のとおり決まりました。

定例会の日程

9月4日	本会議（提案理由説明ほか）
9月8日	本会議（一般質問） 6人
9月11日	本会議（一般質問） 8人
9月13日	本会議（一般質問） 8人
9月14日	本会議（一般質問ほか） 2人 予算決算委員会（前期全体会）
9月15日	予算決算委員会分科会（経済環境）・経済環境委員会
9月19日	予算決算委員会分科会（厚生）・厚生委員会
9月20日	予算決算委員会分科会（建設）・建設委員会
9月21日	予算決算委員会分科会（総務文教）・総務文教委員会
9月22日	予算決算委員会（後期全体会）
9月26日	本会議（委員長報告・討論・採決ほか）



令和5年度予算の9月補正の規模

(円)

	補正前	9月補正額	補正後
一般会計	1,735億2,820万	39億8,910万2千	1,775億1,730万2千
特別会計	1,408億6,249万1千	14億5,788万6千	1,423億2,037万7千
企業会計	460億5,979万8千	0	460億5,979万8千
合計	3,604億5,048万9千	54億4,698万8千	3,658億9,747万7千

可決した主な議案

■予算案件

○5年度富山市一般会計補正予算

- ・道路橋りょう災害復旧工事
- ・農地農業用施設災害復旧工事
- ・こどもインフルエンザ予防接種費助成事業委託料等
- ・介護サービス事業所等防災改修等支援事業補助金
- ・災害復旧地域活動支援金等
- ・障害福祉サービス事業所等ICT導入モデル事業補助金等

39億8,910万2千円

10億4,000万円

3億4,100万円

9,164万9千円

3,532万3千円

3,027万6千円

527万7千円

○5年度富山市特別会計補正予算（3会計）

14億5,788万6千円

■条例案件

- 富山市総合体育館等の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例制定の件
- 富山市空家等の適切な管理及び活用に関する条例の一部を改正する条例制定の件

■契約案件

○工事請負契約締結の件

- ・小見橋1号仮橋設置工事



7月の豪雨により被災した際の市道第2工業団地線の様子（八尾地域）

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

下水サーベイランス事業の実施を求める意見書（議員提出議案第20号）	厚生労働大臣 他6件へ提出
脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書（議員提出議案第21号）	経済産業大臣 他8件へ提出

請 願

審議された結果は、次のとおりです。

市政への要望・意見等がある場合に、市議会に提出する文書のうち、議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といたします。

小・中学校特別教室へのエアコン設置を2024年までに実現してほしいことに関する請願	不採択
---	-----

議案・意見書・請願の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方：「○」＝賛成 「×」＝反対 ※会派人数は、議長と欠席議員を除いたもの。

件 名	議決結果	富山市議会 自由民主党 (13人)	自由民主党 (8人)	公明党 (3人)	立憲民主 市民の会 (3人)	会派 誠政 (2人)	日本共産党 (2人)	気候 (1人)	政策フォー ラム32 (1人)
議案 第105号	令和5年度富山市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	×	○	○
議案 第111号	富山市立和光寮条例を廃止する条例制定の件	○	○	○	×	○	×	○	○
議案 第112号	富山市総合体育館等の公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	×	○	○
議員提出議案 第20号	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	○	○	○	×	×	○	×	○
議員提出議案 第21号	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書	○	○	○	○	×	○	×	○
議員提出議案 第22号	燃料油価格の高騰への対処を求める意見書	×	×	×	○	○	○	×	×
議員提出議案 第23号	健康保険証の廃止を延期し、いまの健康保険証の存続を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	×
議員提出議案 第24号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	×
令和5年分 請願第2号	小・中学校特別教室へのエアコン設置を2024年までに実現してほしいことに関する請願	×	×	×	○	×	○	×	×

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。

また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

日付	委員会等	協議事項等
8月 4日	議会運営委員会	・9月定例会の運営
	建設委員会	・委員会視察
22日	政務活動費のあり方検討会	・各会派から提出された運用指針上の課題・対応案（提案理由説明・質疑）
	議会改革検討調査会	・通年議会 ・大学等との連携
28日	議案説明会	・9月定例会提出予定案件の概要
	タブレット端末等導入検討会	・各会派から提出された検討項目
9月 4日	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.79）
5日	議会運営委員会	・9月定例会の運営
13日	委員長会議	・議案等の委員会付託
14日	議会運営委員会	・会派から提出された意見書（案）・決議（案）
20日	議会運営委員会	・意見書・決議 ・議員派遣の件 ・本会議の進め方 ・委員会視察
26日	委員長会議	・委員会審査結果等の確認 ・決算認定議案等の委員会付託
	予算決算委員会（前期全体会）	・決算概要等説明 ・決算関連議案の分科会送付
	議員定数問題懇談会	・各会派の意見 ・市民との意見交換
29日	総務文教委員会	・「富山市立北部中学校の事案にかかる調査組織」から提出を受けた調査報告書の要旨及び今後の再発防止策
10月 6日	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.79）の発行

（10月6日現在）

予算決算委員会

5年度富山市一般会計補正予算など8件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

総務文教分科会

5年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

防災対策事業費

委員 岩瀬小学校に設置している飲料水兼用耐震性貯水槽について、緊急遮断弁に不具合が生じ、災害時に正常に機能しないことが判明したとのことだが、不具合があった期間はどの程度と考えられるのか。

市 不具合を確認したのが5年1月の点検時であり、その前の点検が2年2月であったことから、最大で2年11カ月と推定される。

委員 大変長い期間、不具合があった可能性があり、万が一この間に災害が起きていたとしたら、貯水槽が使えなかったことになるが、そのような場合、飲料水をどこから確保することになるのか。

市 飲料水については、緊急用給水栓、耐震性貯水槽、ペットボトルの備蓄を合わせて、約18万5,000人分を備蓄している。今回の不具合による影響はおおよそ1万1,000人分であり、飲料水の確保に大きな支障はないものと考えている。

学校給食運営事務費（小学校）の債務負担行為の補正

反対意見 平成25年度以来、学校内の給食室で給食を作る自校方式を取り入れていた小学校18校、中学校3校において、給食調理業務が市の直営から民間委託に変更されてきた。

児童生徒数が増え続けている新保小学校においては、敷地や校舎の拡張には限界があることから、本年6月定例会では、宮野小学校で調理した給食を新保小学校に運び親子調理方式を導入することはやむを得ない措置であると判断し反対しなかったが、その調理業務を民間委託することには反対である。

平成25年度以来、単独校調理場の調理業務民間委託を開始し、子どもたちの命と心を育む教育の一環である給食を作る仕事を担う従事者が、市の正規職員から民間事業者置き換えられることにより、多くの低賃金・不安定雇用に移行されてきた。学校給食の調理業務という公共サービスを担う従事者の労働条件や経験年数は、サービスの質を左右する重要な要素であるが、こうした条件についても、企業秘密であるとして、住民の意思を反映する議会がチェックすることさえできない。

また、学校給食の提供は長期にわたり、安定的に行われなければならないが、民間委託を受けた事業者が経営破綻して、突然、給食が提供できなくなる例が全国各地で起きている。本市では今後、業務委託仕様書に代行業者や代行スキームを盛り込むことを検討することとのことだが、民間企業には、経営リスクが付き物であり、確実な保証があるとは言えない。

さらに、東京都や大阪府にある大企業本社の利益として吸い上げられる分もあることから、投入した税金が地域に還元され、地域で循環する経済が壊されていくということも考えてほしい。

子どもたちにとって最善の給食を安定して提供し続けていくために、学校給食の調理は市の直営で行ってほしい。**賛成意見** 他県において、民間事業者の経営困難により給食の提供や食堂での調理ができなくなった問題については

心配していたが、今回の本市の民間委託と報道であるような民間事業者とは業務スキームが異なるとの説明を受けたことから、賛成すべきであると考えている。

厚生分科会

5年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

保護施設等の物価高騰対策支援事業

委員 保護施設等に対する光熱費等の支援について、今回は物価高騰影響額の2分の1を補助することとしている。ほかに補助がない中で、物価高騰に対する補助を段階的に減らしていくことになれば、施設の運営そのものを変えていかなければならなくなると思うが、市ではどのように考えているのか。

市 事業運営に係る経費は、まずは事業者によって負担されるべきものであると考えている。

本市ではこれまで基礎自治体として支援してきているが、福祉サービスの事業運営に係る費用面での支援等は、本来、国においてなされるべきであり、市はその補完的な役割を果たしているものと認識している。

なお、本年1月から行われている国の電気・ガス価格激変緩和対策事業が本年12月まで延長されたことや、補助額が2分の1に引き下げられたこと等を参考にしながら、市としてできる限りの支援を行いたいと考えている。

経済環境分科会

5年度富山市一般会計補正予算など6件について、審査した。

プラスチック資源一括回収事業

委員 本事業について、市民に理解と協力を得るため、広く周知を図るための補正予算案を計上したとのことだが、当初予算要求時点で予測はできなかったのか。

市 当初から案内チラシ等での広報を予定していたが、昨年度に婦中地域で実証事業を行った後のアンケート調査において、実証事業を行っていること自体を知らなかったというご意見もあったことから、今後、さらに市民に理解を深めていただくために、周知の強化を図るものである。

委員 回収したプラスチック資源について、どのように処理を行い、また、処理後の用途のめどは立っているのか。

市 プラスチック資源として回収されたものは、選別保管施設で選別圧縮梱包された後、再商品化施設で分離し、光学選別などの工程を経て、ペレットやパレットとして再商品化されることになっている。

建設分科会

5年度富山市一般会計補正予算など4件について、審査した。

正副議長および各委員会委員の構成につきましては、富山市議会ホームページ「議員、委員名簿」からご覧いただけます。

下記の URL 等からもアクセスできます。
URL : <https://www.city.toyama.lg.jp/gikai/gyinmeibo/index.html>



正副議長および各委員会委員

総務文教委員会

富山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件など2件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、請願1件については、「不採択」すべきものと決した。

学校現場における個人情報の紛失について

委員 学校現場における個人情報の紛失について、人為的なミスはどうしても起こり得るため、例えば、システムに改良を加えることで、個人情報の漏えいを1件でも減らすことはできないのか。

市 現在、個人情報が漏えいしないように、システム上で何か工夫ができないか、市教育センターと相談しながら調査・研究しているところである。

小・中学校特別教室へのエアコン設置を2024年までに実現してほしいことに関する請願

市 市教育委員会では、職員室や普通教室など、常時人が滞在する場所や、体調の優れない児童生徒が休む保健室、防音等のために窓を閉め切る必要がある図書室や音楽室などには、既にエアコンを設置したところである。

残りの特別教室については、例えば、理科の実験において、暑い時期は実験内容によって可能であれば、資材等を普通教室に持ち込んで実験等を行ったり、どうしても理科室を使用しなければならない場合は短時間の使用にとどめたりするなど、多少の不便はあるものの、エアコンのない特別教室で長時間の授業を受けるという状況を作らないよう運用で対応している。

このことから、多額の整備費をかけることなく、児童生徒の減少に伴い使用されなくなる普通教室のエアコンや小中学校の再編により発生する余剰のエアコンを移設することを含めて、全ての特別教室のエアコン設置を検討しているところである。

なお、請願においては、全ての特別教室のエアコン設置を「2024年までに」とあるが、その場合、受電設備の更新を含む工事と、その前の設計業務があるため、来年度末までに整備することは極めて困難である。

反対討論 市教育委員会から特別教室のエアコンの設置件数や状況等の説明があったが、この請願文には、その説明と異なる文章が複数あるため賛同できない。

反対討論 教育活動に関わりながら学校の状況を見てみると、運用で対応している学校もある。実際に全ての特別教室にエアコンを設置することは、全ての普通教室へのエアコンの設置に50億円もの多額の費用がかかっていることを考えると、この請願の願意を達成することは大変難しく困難であることから反対する。

賛成討論 今後、市全体として児童生徒数が減少することや、統廃合する学校もあることから、エアコンの余剰分を活用することだが、全ての小中学校がそれを待っているとは、暑さに耐えられず、勉強の効率も上がらないばかりか、命が危険にさらされることにもなるため、早急に全ての特別教室へエアコンを設置する計画を立てるべきと考える。

請願文には足りない語句があったかもしれないが、現場の教職員からの悲痛な叫びが記されている。もっと暑くなり、子どもたちや教職員が倒れるような状況になればどうするのか。1校でも多くの学校現場を見て、現場の声を聞いてほしい。

こういった切実で悲痛な訴えや、熱中症指数のデータからも小中学校の特別教室へのエアコン設置は必要であることから、この請願を採択すべきである。

結果 不採択すべきものと決した。

【所管部局からの報告事項】

- 教育委員会
- ・個人情報の紛失

厚生委員会

富山市立和光寮条例を廃止する条例制定の件など2件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

富山市立和光寮条例を廃止する条例制定の件

委員 母子生活支援施設である和光寮を廃止する理由の一つに、ひとり親等に対する相談・支援体制の充実を挙げているが、どのような内容なのか。

市 平成25年度に当時のこども福祉課内に児童相談係を設置した。

その後、平成29年度にこども家庭部が創設されたタイミングで、児童福祉を担当する児童相談係と、母子保健を担当する母子保健係をこども健康課に設置し、組織体制を整えとともに、人員を増員している。

また、こども健康課と各保健福祉センターとの連携についても、情報共有するためのシステムを統一することによってスムーズに対応しており、地域で見守る体制が取れているものと考えている。

【所管部局からの報告事項】

- 福祉保健部
- ・介護保険料の^{そきゅう}遡及賦課誤り
- ・負担限度額認定申請における個人情報の漏えい
- 市民生活部
- ・とやま広域窓口サービスの終了

経済環境委員会

富山市牛岳温泉スキー場条例の一部を改正する条例制定の件など2件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

土地処分の件（呉羽南部企業団地分譲地）

委員 本年7月の大雨時に企業団地内の調整池などの排水関係に影響はなかったのか。

市 大雨のあった翌日に確認をしたところ、調整池等において大量のごみが集積していた部分があったので、市職員で清掃を行った。

委員 企業団地内に浸水の被害はなかったのか。

市 呉羽南部企業団地内について、浸水の被害があったとはお聞きしていない。

【所管部局からの報告事項】

- 商工労働部
- ・富山ウエスト開発株式会社の清算結了

建設委員会

富山市火災予防条例の一部を改正する条例制定の件など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

- 上下水道局
- ・契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約
- 建設部
- ・調停申立ての結果
- 活力都市創造部
- ・富山市立地適正化計画の改定

災害対策

鋪田 博紀（富山市議会自由民主党）



問 地域課題の解決を住民とともに進めるため5年4月に新設された地域コミュニティ推進課の災害時における役割は。



答 市では大規模な災害発生時、必要に応じ市長をトップとする災害対策本部を設置している。この対策本部での市民生活部の役割は、地区センターとの連絡調整に関すること等があり、このうち地域コミュニティ推進課は、行政サービスセンター等を所管する所属として各地区の被害状況を把握し防災危機管理課へ報告・情報共有することや、他部局から入手した情報を部内で共有する役割を担っている。（市民生活部長）

【質問項目】
▼災害対策 ▼令和4年度決算 ▼プラスチック資源一括回収

アピアランスケア^(※)

押田 大祐（自由民主党）



問 アピアランスケアへの補助制度を導入すべきと考えるが、市長の見解は。



答 がん患者用補正具の購入費用の助成は、本来国の制度としてあるべきであり、また、外見の変化が生活の質に影響を及ぼすという状態は、がん以外の病気や障害によっても生じる可能性があるという考えに変わりはない。しかしながら、患者や家族の悩みや不安に寄り添うことは、本市の重要な役割であると考えている。この助成制度の導入が他都市において広がってきている現状を踏まえ、本市においても、支援の在り方を含めて検討していきたい。（市長）

【質問項目】
▼消防団 ▼アピアランスケア

※アピアランスケア…医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと。

本市における労働政策

松井 邦人（富山市議会自由民主党）



問 中小企業に対して人材確保を支援する必要があると考えるが、見解は。



答 無料職業紹介所「JOB活とやま」の開設、新卒者等への合同企業説明会の実施、採用動画制作への支援を行ってきた。今年度からは富山大学と連携し1年生を対象に富山で働く利点についての講義を実施したほか、その内容を首都圏の大学と連携した合同企業説明会の場等でも発信する予定である。人材確保は難しい課題だが、国や県、商工会議所等の取り組みと連携し、さまざまな角度から中小企業への支援に努めたい。（商工労働部長）

【質問項目】
▼本市における労働政策 ▼本市における子ども・子育て施策
▼豪雨災害時の対応

図書館の活性化

高田 重信（富山市議会自由民主党）



問 ビジネス支援の取り組みや、利用者に案内や相談の対応をするロボットの導入など、魅力的なサービスを展開することによって、さらなるにぎわい創出や利用者の増加につながるものと期待するが、見解は。



答 専門的知識を学んだ司書によるビジネス支援や文字を拡大する機能の付いた音声読書機の導入等のほか、ICTを活用し図書館の認知度を高める取り組みも行っている。引き続き、市民の読書や課題解決に関する支援や魅力あるイベントの開催などを通じて、さらなるにぎわいの創出や利用者の増加に努めたい。（教育長）

【質問項目】
▼地方分権推進 ▼JR高山本線活性化
▼トヤマチ∞ミライ ユナイテッド ▼5Gの活用
▼シティプロモーション ▼図書館の活性化

土地利用の促進

泉 英之（自由民主党）



問 非線引き白地地域における良好な宅地分譲の促進について、市長の見解は。



答 今後、人口減少や少子・超高齢化が本格化する中で、白地地域などにおいて宅地分譲が過度に進むことは、既成市街地の空洞化や、日常生活に必要な都市機能の衰退、ひいては地域の拠点性の低下につながることを懸念される。今年度から着手した次期都市マスタープランを策定する中で、地域の実情や特性を考慮しながら、本格的な人口減少時代の先にある目指すべき都市の将来像を見据えて、必要な検討を進めたい。（市長）

【質問項目】
▼土地利用の制限と促進

人口減少に対する今後の本市の取り組み

金谷 幸則（富山市議会自由民主党）



問 子育て世代の子世帯と、親世帯との近居の推進に関する今後の考え方は。



答 近居というライフスタイルは、子世代と親世代が程よい距離感を保つことで、互いに過度な干渉を避けながら日常生活の相互の協力や緊急時の迅速な対応などが可能となり、家族の絆が育まれ地域コミュニティの醸成にもつながるものと考えている。こうしたことから、近居の推進については、今後、本市の住宅施策の中でどのように取り組むことができるのか、引き続き、他都市の取り組みなどを参考として調査・研究していきたい。（活力都市創造部長）

【質問項目】
▼人口減少に対する今後の本市の取り組み

病院事業局における看護職員処遇改善等 村石 篤 (立憲民主市民の会)



問 地方公営企業法第38条を順守し、看護職員処遇改善 (月額1万2千円) を実施すべきと考えるが、市長の見解は。



答 給与勧告制度にのっとることが、地方公営企業法第38条を体現する有力な手法であると認識している。4年2月に看護職員処遇改善の補助制度が創設され、10月から看護職員処遇改善評価料が新設されたが、対象外の職種もあり職員間で処遇に格差が生じるため実施を見送った。しかし、良好な市民サービス提供の観点からも処遇等を改善していくという意識は大切であり、しっかりと向き合っていきたい。(市長)

【質問項目】

▼議員に対する市当局からの資料提供 ▼会計年度任用職員
▼病院事業局における看護職員処遇改善等 ▼今年の7月豪雨

子ども最優先の学校運営 (「GIGAスクール構想」一人1台端末の活用) 松尾 茂 (公明党)



問 相談システム運用後の友達や人間関係に関する悩みの相談件数は。また、現状の相談件数に対する教育長の見解は。



答 最終的に相談に至った351件のうち、友達や人間関係の悩みは260件で、システムが悩み等を抱えながらも相談へ踏み出せない児童生徒の背中を押す確かな一助となる手応えを感じている。一方でSOSを出せない児童生徒がまだまだ潜在的に存在すると考えられ、丁寧な見守りや、小さな訴えの傾聴ときめ細かい対応の大切さを再認識した。今後も教育相談体制の充実に努めたい。(教育長、教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼子ども最優先の学校運営 ▼バイオマス燃料の取り組み

ふるさと納税 田辺 裕三 (富山市議会自由民主党)



問 ふるさと納税制度について、市長の見解は。



答 ふるさと納税の寄付先の地方公共団体の選ばれ方が、制度本来の趣旨とは少し異なり、返礼品を目的としたものが多くなっていると感じる。しかしこの制度は、本市の特産品や魅力をPRできる絶好の機会であり、地場産業の振興や地域経済の活性化に寄与するとともに、寄付金の受け入れによる財源の確保にも有効であると考えている。このことから、今後とも制度のルールにのっとり、本市へのふるさと納税を全国に発信していきたい。(市長)

【質問項目】

▼ふるさと納税 ▼富山市の観光事業 ▼富山市健康プラン21 (第2次)

結ネット^(※)を活用した広報の電子配布 久保 大憲 (自由民主党)



問 結ネットを活用した市広報の電子配布を検討してはどうか。



答 「広報とやま」は、市政や暮らしに関わるさまざまな情報を市民に届けるため、自治振興会のご理解とご協力を得ながら市内全世帯に配布しており、市ホームページへの掲載や市公式LINEによる配信等、電子版での情報提供にも努めている。近年、人口減少が進み世帯構造が変化している中で、配布の在り方については時間をかけて検討すべき課題だと認識しており、「結ネット」を活用した配布方法等を含め、今後調査・研究を続けたい。(企画管理部長)

【質問項目】

▼庶務事務システムの導入により期待する効果
▼常任委員会の県外視察における執行機関の同行
▼結ネットを活用した広報の電子配布 ▼都市計画

※結ネット…電子回覧板アプリ

猛暑対策 高原 譲 (富山市議会自由民主党)



問 気象庁の統計開始以降、今夏の平均気温は最も高いとのことだが、小中学校における熱中症対策は。



答 小中学校では、活動場所の暑さ指数を専用器具で実測し、一定指数以上の場合には活動時間の短縮や中止をしている。またエアコンの適切な使用や気温が高い時間帯の下校を避ける等の対策をしている。一方、市教育委員会は「熱中症警戒アラート」発令時に各学校へ速やかに連絡し対応を求めるほか、5月以降、熱中症の未然防止に関する通知を複数回発出するなど熱中症防止に関する指導・助言を行っている。(教育長)

【質問項目】

▼猛暑対策など ▼公用車の車検切れ ▼競輪事業 ▼ファミリーパーク

防災 織田 伸一 (富山市議会自由民主党)



問 本市の洪水時における避難指示等の発令基準の見直しについて、見解は。



答 本市は河川の水位情報を参考として、現地の状況や避難行動の難易度、気象予測等、さまざまな情報を勘案し避難指示等を発令している。一方、市地域防災計画には、発令のための客観的な判断基準として河川の水位のみを記載しているが、日頃から避難に関する情報を市民に正しく伝えることは災害時にとるべき行動を意識してもらう上で大切であることから、市地域防災計画の記載方法を含め、周知啓発について検討したい。(防災危機管理部長)

【質問項目】

▼アフターコロナにおける地域コミュニティ強化
▼富山市総合体育館における民間活力導入事業 ▼防災

物流の2024年問題

橋本 雅雄（会派 誠政）



問 家庭での宅配ボックスの普及について、見解は。

答 物流の2024年問題は、荷主事業者と物流事業者間の問題であることに加え、一般消費者も自分ごととして捉え、行動変容につながることが大切である。宅配ボックスは、ドライバーの負担軽減や温室効果ガス排出抑制が期待されており、また一般消費者のニーズも高まっている。国の支援制度を周知するとともに、関係団体の意見も伺いながら、効果的な取り組みについて検討していきたい。

（商工労働部長）



【質問項目】
▼物流の2024年問題 ▼消防団

自衛隊への個人情報の名簿提供

吉田 修（日本共産党）



問 個人情報の提供を望まない市民を対象から外す「除外申請」制度を導入すべきと考えるが、市長の考えは。

答 自衛隊への個人情報の提供を望まない市民を名簿の対象から外す、いわゆる「除外申請」制度は、政令指定都市等いくつかの自治体で導入されているが、中核市等への調査では導入自治体は少ないものと把握している。自衛隊への情報提供は法的根拠が明確なものの、情報提供の対象から除外することは法的な裏付けがなく、現時点で本市での導入は考えていないが、今後、国や他市の動向に注視していきたい。（市長）



【質問項目】
▼自衛隊への個人情報の名簿提供 ▼市営住宅の老朽化対策
▼小中学校の特別教室等へのエアコン設置 ▼熱中症対策

災害時における消防団の在り方

金岡 貴裕（自由民主党）



問 災害に備えるため、消防分団器具置場で待機した場合の出動報酬の支払いは。

答 出動報酬は、出動に応じて支払われる成果給的な報酬であり、消防分団器具置場で待機することについては出動にはあたらないことから出動報酬の対象にはならないものの、大雨警報が発表されている中で、長時間にわたり消防分団器具置場で待機することは、団員の負担となることから、出動報酬の支給について他都市の状況等も参考にしながら、支給の要件等を調査・研究していきたい。（消防局長）



【質問項目】
▼災害情報の発信 ▼災害時における消防団の在り方

空き家対策

飯山 勝彦（富山市議会自由民主党）



問 特定空家や管理不全空家の発生を未然に防ぐための取り組みについて、見解は。

答 相続の問題、土地や建物に係る権利の問題等、複雑で複合的な課題を持つ空き家が増加している昨今、本市の取り組みを、質、量、内容の面から総合的に強化していく必要があると考えている。今後、相談窓口の設置や、危険な空き家の自主的な除却への支援制度の創設、特定空家等の認定や指導、勧告等の在り方などについて、他都市の事例や今般の法改正等を踏まえて検討していきたい。（活力都市創造部長）



【質問項目】
▼空き家対策 ▼農業政策 ▼食の魅力発信

居宅介護支援サービス

江西 照康（自由民主党）



問 管理者となる主任ケアマネージャーを確保できないことが、居宅介護支援事業所が廃止となる要因となっているため、市の判断で行える管理者の要件適用までの猶予期間の延長が必要と考えるが、見解は。

答 居宅介護支援事業所から、主任ケアマネージャーを確保できず、猶予期間延長の申し出があった場合、確保する計画などをお伺いして、延長を認めてきた。今後は、確保に努められたが、延長期間内に確保できない事業所については、再度の延長を認めるなど、より柔軟に対応したいと考えている。（福祉保健部長）



【質問項目】
▼富山大空襲と富山市民感謝と誓いのつどい
▼暑さ指数と屋外運動への対応 ▼居宅介護支援サービス
▼オーバード・ホール中ホールでの公演

近年の酷暑における熱中症対策

岡部 享（立憲民主市民の会）



問 猛暑日や雨天時の子どもの遊び場確保に向けて屋内遊戯施設を整備すべきと考えるが、見解は。

答 本市は、健康増進と豊かな情操を育むことを目的とした児童館を13館設置しており、冷房設備のある屋内で運動ができ、乳幼児が遊具で遊ぶこともできる。また、市内16カ所の子育て支援センターにも乳幼児向け遊具を置き、遊びの場を整備している。このように、児童や乳幼児が屋内で遊ぶ施設として児童館や子育て支援センターが多くあることから、新たな屋内遊戯施設の整備は考えていない。（こども家庭部長）



【質問項目】
▼本市の小中学校における水泳授業・プール開放 ▼近年の酷暑における熱中症対策
▼物流の社会的役割を考慮したまちづくり ▼バス利用者のさらなる利便性の向上

子どもや若者の居場所づくりの支援

柏 佳枝 (公明党)



問 わがまちサロン事業の支援や助成の拡充ができないか。

答 ひきこもりなどで社会とのつながりが困難となった方に居場所を提供する活動の費用の一部を市が助成する「わがまちサロン事業」については、市内で実施されている活動を紹介するリーフレットの配布先の拡充を検討するほか、SNSを活用した若者への効果的な情報発信に努めていきたい。また、身近な場所での居場所づくりとして新たな場所での開催や、地域に根差した居場所づくりへの支援など、今後、事業の見直しを検討していく。(福祉保健部長)



【質問項目】

▼女性の健康支援 ▼子どもや若者の居場所

地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)

藤田 克樹 (自由民主党)



問 一般企業等に農地取得を認める構造改革特区の申請に取り組んでどうか。

答 特区を活用する際は、市が国に申請するが、その条件として「一般企業等が地域計画の担い手として位置付けられていること」「一般企業等が取得した農地が違反転用等となった場合に市が買い戻すこと」などが求められる。一方、一般企業等が農地を賃借し農業参入することは、全国どこでも可能であるため、特区の活用は、地域計画の策定を進める中で地域や農業に携わる企業等のニーズや他都市の動向に留意し調査・研究を進めていく必要がある。(市長)



【質問項目】

▼地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)

福祉施設の老朽化による建て替え(高齢者および障害者入所施設)

澤田 和秀 (自由民主党)



問 建築コストの増加のため老朽化による建て替えに対する補助金の増額が必要と考えるが、見解は。

答 国庫補助金を充てている本市の補助事業は、国が毎年度、国の補助事業として補助金の交付基準額を見直し、その額は引き上げられている。本市では建築費高騰を理由とした補助金の上乗せは考えていないが、建築費の高騰等を適切に反映した補助基準額の引き上げや、安定した施設運営が行えるよう介護報酬や障害福祉サービス等報酬などの公定価格の引き上げについて、国へ働きかけたいと考えている。(福祉保健部長)



【質問項目】

▼富山市における福祉施設の老朽化による建て替え ▼富山市の観光資源

おわら行事

大島 満 (政策フォーラム32)



問 学校教育の中で伝統芸能をどのように育てていくのか。

答 教育基本法第2条には、教育の目標の一つとして伝統と文化を尊重する旨が示されている。



伝統芸能の継承は、第一義的には地域や家庭が担うものであると考えているが、伝統行事を伝える内容を盛り込んだ副読本を各小学校に配付し、授業で活用することなどを通して、児童生徒が伝統芸能を受け継ぐ心と、地域の文化を大切にしようとする態度を育むよう努めたい。(教育長)

【質問項目】

▼おわら行事 ▼公共交通

学童保育での昼食の提供

赤星 ゆかり (日本共産党)



問 市が委託している地域児童健全育成事業(子ども会)において、何らかの方法で昼食の提供を検討できないのか。

答 地域児童健全育成事業における昼食の提供方法としては、施設内での調理と宅配弁当の活用が考えられる。施設内調理による安全な昼食の提供は衛生的な調理設備等の確保が困難なため難しいが、宅配弁当の活用は、業者の確保等の課題はあるが可能と考えている。いずれにしても、各校区の運営協議会が判断されるものと考えており、相談があれば昼食の提供方法の例等を情報提供していきたい。(こども家庭部長)



【質問項目】

▼富山大空襲 ▼南富山駅周辺のまちづくり ▼気候変動対策の強化 ▼小中学校の特別支援学級 ▼学童保育での昼食の提供

水道事業

柞山 数男 (自由民主党)



問 企業誘致における水道事業の支援について、見解は。

答 企業が立地することは、水道事業の新たなユーザーの確保だけでなく、地域経済の活性化や雇用創出等の効果も期待できる。一方、水道配水管の未整備地区で布設延長が増加することは、初期整備費用に加え、維持管理や更新に係る費用も増加することになり、水道事業経営への影響が懸念される。企業誘致促進の支援については、まずは水道事業の健全経営の堅持を基本とし、適正かつ合理的な支援の実施について検討していきたい。(上下水道局長)



【質問項目】

▼防災対策 ▼水道事業 ▼ごみ減量化

とやま市議会だよりの文字の書体と色が変わりました

令和4年12月定例会号で実施した「とやま市議会だよりにアンケート」の結果を参考に、より読みやすい市議会だよりにするために、議会報編集委員会で検討を重ね、文字の書体と色を変更することとなりました。

書体は、親しみやすく読みやすい「UD（ユニバーサルデザイン）新丸ゴ」を採用し、色は、新聞や雑誌等で見慣れている黒色に変更しました。

今後も、皆さまに読んでいただける市議会だよりになるように努めてまいります。



議会報編集委員会の様子

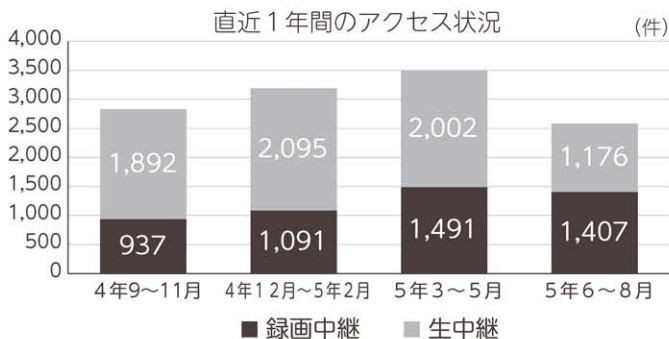
決算審査が行われました

9月定例会終了後の閉会期間中に下記の日程で予算決算委員会全体会および各分科会が開催され、決算案件の審査が行われました。

- 9月26日 予算決算委員会（前期全体会）
- 10月10日 経済環境分科会
- 10月11日 厚生分科会
- 10月12日 建設分科会
- 10月13日 総務文教分科会
- 10月17日 予算決算委員会（後期全体会）

詳細については、次号（No.80）に掲載予定です。

インターネットでの本会議中継のアクセス状況



※グラフは「定例会」開催月から3カ月間を集計したものです。開催した議会日程は下記のとおりです。

4年	9月定例会	9月 5日～ 9月28日
4年	12月定例会	11月30日～12月20日
5年	3月定例会	2月27日～ 3月23日
(5年)	5月臨時会	5月10日
5年	6月定例会	6月 8日～ 6月30日

録画中継は、インターネットでいつでもご覧いただけます。

議員の寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、特定の場合を除いて、法律で禁止されています。

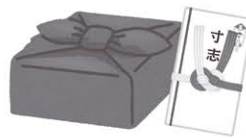
また、有権者が議員に寄附を求めることも禁止されています。



お祭りや運動会への寄附、差し入れ



葬式、結婚式での代理出席者からの香典、祝金



町内会の集会や旅行への寸志、差し入れ



葬儀の花輪、病気見舞い、入学祝、卒業祝



落成式や開店祝いへの花輪



年賀状、暑中見舞い、お中元、お歳暮

富山市議会では、議員個人による弔電、祝電も廃止しております。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

次号（No.80）は、2月20日発行の予定です。
なお、2月上旬ごろに、ウェブ速報版を富山市議会ホームページにて公開予定です。

ケーブルテレビでの本会議の生放送

本会議の開催日は、ケーブルテレビ富山および上婦負ケーブルテレビで生放送をご覧いただけます。
ただし、上婦負ケーブルテレビでの放送は、都合により、録画放送になる場合があります。

インターネットでの本会議の 生中継および録画中継



インターネットの録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く）からご覧いただけます。
なお、編集作業等により公開が遅れることがあります。

本会議の会議録



本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

委員会・諸会議の議事録等も、ホームページに掲載しています。

5年9月定例会の会議録は、11月下旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市役所東館3階の市政情報コーナーで閲覧することができます。

No.67（2年12月定例会号）からは、とやま市議会だよりのテキストデータ（音声読み上げ対応）版の公開もしています。



請願・陳情（市政への要望・意見）の提出

請願書（議員の紹介あり）・陳情書（議員の紹介なし）を提出される方は、次の要領でお出してください。

- 1 請願・陳情の趣旨を具体的に記載してください。
- 2 提出年月日、提出者の住所および氏名（法人の場合は名称と所在地、代表者名）を記載し、署名または記名押印の上、議長宛てに提出してください（署名の場合は押印が不要です）。
- 3 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 4 定例会開会日の正午までに提出されたものを、その定例会で審査・処理しています。

【お問い合わせ】 議会事務局 議事調査課
TEL 443-2158

※議員の連絡先は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

請願（陳情）の書式例

〈表紙〉	〈本文〉
〇〇〇に関する請願書 (陳情書)	〇〇〇に関する請願 (陳情)
紹介議員 (陳情書には不要)	1:趣旨 2:理由 年 月 日 請願(陳情)者 住所 氏名
〇〇〇〇 (署名または記名押印)	(宛先) 富山市議会議長

次回12月定例会の日程（予定）

11月30日	本会議（提案理由説明ほか）
12月 5日	本会議（一般質問）
12月 6日	本会議（一般質問）
12月 8日	本会議（一般質問）
12月11日	本会議（一般質問） 予算決算委員会（前期全体会）
12月12日	予算決算委員会分科会（経済環境） ・経済環境委員会
12月13日	予算決算委員会分科会（厚生） ・厚生委員会
12月14日	予算決算委員会分科会（建設） ・建設委員会
12月15日	予算決算委員会分科会（総務文教） ・総務文教委員会
12月18日	予算決算委員会（後期全体会）
12月20日	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決ほか）

※日程については予定となっております。
最新の日程や傍聴の取り扱いにつきましては、富山市議会のホームページ等でご確認ください。

傍聴の際の注意事項

- ・私語や飲食など会議の妨害になることはしないでください。
- ・拍手など可否の表明はしないでください。
- ・写真の撮影、音声の録音はしないでください。
- ・携帯電話の電源はお切りください。
- ・帽子、コート、マフラーの類は着用しないでください。

編集後記

議会報編集委員長としての目標の一つに、市民の皆さまに読みやすい「とやま市議会だより」とすることを掲げておりました。そこで、令和4年12月定例会号のアンケート結果をもとに議会報編集委員会で議論を重ね、今号から文字のフォントと色を変更しました。さらに見やすくなったと思います。これからも皆さまの声に耳を傾けてまいります。



議会報編集委員長
豊岡 達郎

行政視察報告

各委員会では、市政の課題や先進事例の調査を行うために、市内外への行政視察を行っています。視察後は、今後の質疑や提言等に生かすため、視察の目的や所感をまとめた報告書を作成しており、インターネット公開および窓口閲覧を行っています。今号では、9月定例会前までに行った視察についてご紹介します。



◀行政視察報告書について

経済環境委員会

7月10日～7月12日

【沼津市】

- ・商店街におけるアーケード撤去の効果等
「沼津新仲見世商店街」

【熱海市】

- ・自伐型林業推進事業
- ・釣り文化振興促進モデル港の取り組み
「熱海港」

【長野県】

- ・県産材の利用促進に向けた取り組み

【長野市】

- ・再生可能エネルギーの利活用と地産地消
- ・省エネルギーの推進



沼津新仲見世商店街での視察の様子



熱海市での視察の様子

建設委員会

7月10日～7月12日

【豊田市】

- ・衛星画像を活用したAI漏水調査

【横浜市】

- ・横浜市消防艇「まもり」の更新
「鶴見水上消防出張所」

【前橋市】

- ・自動運転バスの走行実証
「群馬大学 荒牧キャンパス内
次世代モビリティ社会実装研究センター」



鶴見水上消防出張所での視察の様子



群馬大学荒牧キャンパスでの視察の様子

6月28日（市内視察）

【呉羽丘陵フットパス】

- ・連絡橋の整備状況

8月23日（市内視察）

【上下水道局庁舎】

- ・下水熱を活用した空調設備



呉羽丘陵フットパス連絡橋での視察の様子



上下水道局庁舎での視察の様子

厚生委員会

7月19日～7月21日

【太田市】

- ・オープンハウスアリーナ太田建設事業
「オープンハウスアリーナ太田」

【横浜市】

- ・若者自立支援の取り組み

【足立区】

- ・子どもの貧困対策

【柏市】

- ・フレイル予防の取り組み



オープンハウスアリーナ太田での視察の様子



柏市での視察の様子

総務文教委員会

8月8日～8月10日

【京都市】

- ・不登校特例校（洛風中学校・洛友中学校）の設置

【東広島市】

- ・「Town&Gown」を核とした次世代学園都市の実現
「広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREA」

【加古川市】

- ・市民参加型合意形成プラットフォームDecidim（デンディム）の導入



京都市での視察の様子



MIRAI CREA（ミライ クリエ）での視察の様子